

港湾信頼性設計法研究会（仮称）についてのお知らせ

今般港湾基準が改正され、信頼性設計法が本格的に導入されました。近々発刊予定の「港湾の施設の技術上の基準・同解説」におきまして、代表的な構造形式について、信頼性設計法を用いる場合の標準的な部分係数は示される予定です。しかしながら、性能設計体系の導入により設計の自由度が高まったことなどを踏まえると、標準的でない信頼性設計法の検討の要請も今後高まってくることと考えられます。

つきましては、国土技術政策総合研究所では、港湾信頼性設計法研究会（仮称）を組織することとしました。本研究会の特徴は以下の通りです。

- ・本研究会は、港湾構造物の信頼性設計に関する技術の向上、情報交換を図ることを目的として組織される会であり、参加者の自由意志により構成される任意の勉強会です。
- ・会員は、企業としてではなく、個人として参加いただくこととします。
- ・研究会参加に関する費用は、原則として各会員の研究会参加活動のために必要な費用を除いては生じません。
- ・各会員は何らかの信頼性設計法に関する調査研究を行い、年 1 度開催される研究発表会において、1 名あたり最低 1 件の研究内容の発表を行っていただきます。研究発表内容は新規性を含んだもの（ただし、完成度は問わない）とします。
- ・事務局は国土技術政策総合研究所・港湾施設研究室とします。研究会などの開催も原則として国土技術政策総合研究所・横須賀庁舎で行う予定です。

本研究会に参加意思のある方は、2007 年 7 月 19 日までに、お申し込みください（随時受付と致しますが、第 1 回の会合を 8 月に開催したいと考えておりますので、早めにお申し込み頂けると幸いです）。

お申し込みにあたっては、氏名、所属、電話番号、メールアドレスを添えて、下記までメールにてお申し込みください。

問合せ先および申し込み先：

国土技術政策総合研究所 港湾施設研究室 宮田主任研究官 TEL：0468-44-5029

kouwan-sisetu@ysk.nilim.go.jp